

私の卒論プラン

手がかりとなる文献

湯元健治、佐藤吉宗『スウェーデン・パラドックス』日本経済新聞出版社、2010 年

きっかけ

『貧困にあえぐ国ニッポンと貧困をなくした国スウェーデン』を読み、北欧諸国はなぜ貧困問題を解決できたのか、また日本では実現不可能なのか興味をもったためである。

要旨

序章 スウェーデン・モデルとは何か

- ・スウェーデン・モデルの特質について
- ・スウェーデン・モデル完成後に起きた経済危機・金融危機への対応

第 1 章 高い国際競争力の源泉は何か

- ・国際競争力とは何か
- ・高い国際競争力を支える 5 つの要素
- ・危機の克服力

石破キモ、90's 初めの金融危機

第 2 章 女性の活用による共働き社会の実現

- ・高い女性の労働力率、賃金の男女格差縮小
- ・個人単位の課税
- ・女性の就労・子育てを支えるシステム…男性負担の育児休業保険、就学前保育所
- ・ワーク・ライフ・バランス

男性もとらふと育児休業手当てがとれない

第 3 章 厳しい競争社会を支える独自の雇用・賃金システム

- ・厳しい競争社会の現実—低い労働コスト、解雇規制
- ・連帯賃金政策で「同一労働・同一賃金」を実現
- ・産業構造の高度化、労働の質向上を目指す積極的労働市場政策
- ・実学志向の教育

一般教養と重視せず
採用も、実際の技能と重視

競争紹介
雇用訓練プロジェクト

第 4 章 就労インセンティブを重視する福祉・社会保障制度

- ・スウェーデン人の価値観について
- ・社会保障の基本的な考え方—所得移転と現物給付
- ・公的年金をはじめとする高齢者への所得移転
- ・医療・介護制度の実態
- ・労働市場から疎外された者への対応

徹底して個人生活の上に

雇用支援政策

第5章 明確な受益と負担の関係

- ・高福祉を支える高負担の構造
- ・社会保障を支える財源
- ・スウェーデン国民はなぜ高負担を受け入れるのか

終章 スウェーデンから見た日本の未来への提言

- ・4つの構造問題に直面する日本経済
- ・日本はスウェーデンから何を学ぶべきか

卒論のテーマ (予定)

「スウェーデンから学ぶ¹⁸⁸³日本の社会福祉と貧困問題」

調べたい点、解明したい点、問題意識

- ・スウェーデンの社会保障制度 (年金、教育、保険)
- ・スウェーデンの雇用・賃金システム (同一労働・同一賃金)
- ・「持続可能な制度」を目指した背景……
- ・女性、高齢者の就労インセンティブはどこから生じるのか?
- ・スウェーデン国民はなぜ高負担を受け入れているのか
- ・スウェーデンの税収の使途
- ・高福祉国家は本当にデメリットがないのか (ほとんど書かれていない)
- ・日本の貧困問題の現状
- ・日本の社会保障制度の問題点 (主に年金制度)
- ・日本がスウェーデンから学ぶべきものは何か

参考文献一覧

1. 阿部彩『弱者の居場所がない社会—貧困・格差と社会的包摂』講談社現代新書、2011年
2. 岩田正美『現代の貧困—ワーキングプア／ホームレス／生活保護』ちくま新書、2007年
3. 大阪弁護士会『貧困問題がわかる① 貧困を生まないセーフティネット』明石書店、2010年
4. 大阪弁護士会『貧困問題がわかる② 貧困の実態とこれからの日本社会』明石書店、2011年
5. 大阪弁護士会『貧困問題がわかる③ 世界の貧困と社会保障—日本の福祉政策が学ぶべきもの』明石書店、2012年
- 6. 北岡孝義『スウェーデンはなぜ強いのか』PHP新書、2010年
- 7. 高岡望『日本はスウェーデンになるべきか』PHP新書、2011年
- 8. 竹崎孜『貧困にあえぐ国ニッポンと貧困をなくした国スウェーデン』あけび書房、2008年
9. 湯浅誠『反貧困—「すべり台社会」からの脱出』岩波新書、2008年
- 10. 湯元健治・佐藤吉宗『スウェーデン・パラドックス』日本経済新聞出版社、2010年